

めざします。企業の繁栄と社会への貢献

法人会だより

2020年
夏

公益社団法人 沖縄北部法人会 広報委員会
名護市字茂佐の森5-2-7 電話 (0980) 54-3120/FAX (0980) 50-9053
MAIL info@okihokuhoujin.com URL <http://www.okihokuhoujin.com>

No.14



第9回通常総会が5月26日(火)ホテルゆがふいんおきなわに於いて開かれ、会員654社の過半数を越す356社(委任334社)が出席した。ご案内の通り、本年度の総会は新型コロナウイルス感染症防止の為、残念ながらご来賓のご招待は見送りとさせて頂いた。総会そのものの時間を短縮し、表彰式及び記念講演会を中止とし、総会のみ開催となった。

冒頭のあいさつで、石川会長は会員の皆様方へ新型コロナウイルス対応等で大変お忙しい中での出席に対しお礼を申し上げ、青年・女性部会による租税教育活動に対し感謝するとともに、今後も法人会の理念に則り、税知識の普及、納税意識の向上はもとより、やんばる地域の発展に尽力する旨述べた。その後、議事に入り報告事項として、令和元年度事業報告、令和2年度事業計画及び令和2年度収支予算の説明が行われた。続いて決議事項に移り令和元年度収支決算報告承認の件が全会一致で承認可決された。

総会終了後は、当初中止としていた懇親会を、緊急事態宣言が解除され、経済活動も徐々に再開されていることから、安全面を考慮し急遽懇談会として開催。会員企業におけるコロナ禍の影響や、対策等について意見交換がおこなわれた。

法人会会員企業の皆様へ

大同生命保険株式会社・AIG損害保険株式会社

9月30日まで
再延長致します

新型コロナウイルス 健康相談ダイヤル
緊急開設のご案内

無料

平素より「法人会の福利厚生制度」の普及・推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
会員企業の役員様、従業員様におかれましては、**新型コロナウイルス感染症**対策でご自身並びに大切なご家族の健康等に関してご心配なことと思います。

そこで法人会福利厚生制度協力会社である大同生命とAIG損保では福利厚生制度のご加入にかかわらず、全ての会員企業の皆様を対象に、24時間対応の「新型コロナウイルス健康相談ダイヤル」を開設することといたしました。

会員企業の役員様、従業員様、そしてそのご家族まで幅広く、無料でご利用いただけます。
約3ヶ月間の相談窓口となりますが、皆様の健康と安全・安心のためにご活用いただければ幸いです。

対象は、法人会会員企業の役員様・従業員様とご家族です。

新型コロナウイルス 健康相談ダイヤル

経験豊かな看護師や保健師が**土・日・祝日を含む24時間体制**で**新型コロナウイルスに関するご相談に対応**させていただきます。

0120-102-297

受付期間：2020年4月6日～~~再延長しました！~~
2020年6月30日 **9月30日**

受付時間：24時間(土・日・祝日を含む)
サービス提供会社：ティーペック株式会社
<http://www.t-pec.co.jp/>

「新型コロナウイルス」の相談については、厚生労働省や国立感染症研究所のガイドラインに沿った回答となります。「新型コロナウイルス」による「ロックダウン」などによりご相談をお受け出来ない場合もあります。また、保険加入や給付金など保険に関するご相談はお受けできませんので、その際はご了承ください。

厚生労働省のホームページ [新型コロナウイルス感染症について](#)もご参照ください。

厚生労働省 [新型コロナウイルス Q&A](#) 検索

法人会福利厚生制度推進協力会社

DAIDO 大同生命保険株式会社

AIG AIG損害保険株式会社

法人会首里城復興支援募金のお礼及びご報告

沖縄県法人会連合会では、今年1月から2月末までの期間、県内法人会会員企業と協力して、首里城再建に向けた、首里城復興支援募金を行いました。

ご協力いただいた、皆様に深く感謝申し上げます。

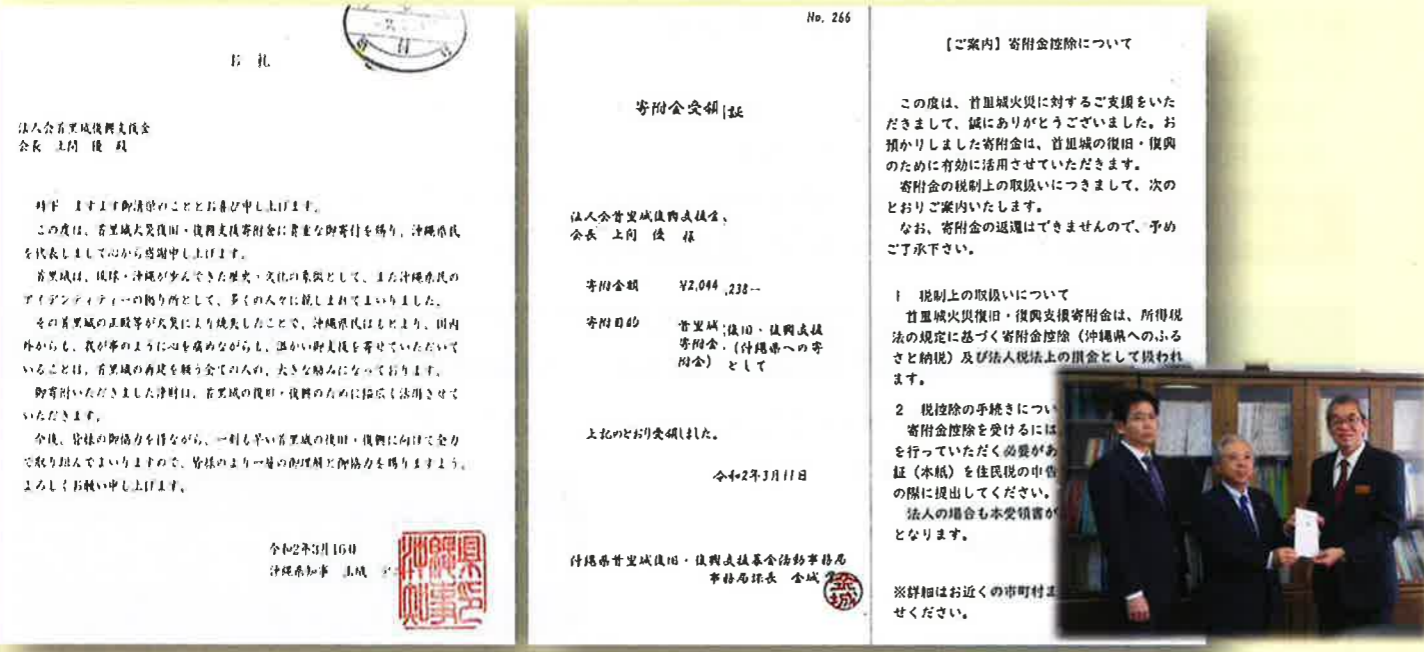
皆様からお預かりしました支援金の総額は、2,044,238円でした。

お預かりしました支援金全額を首里城の早期再建に向けた、復旧・復興に役立てて頂くために以下の「寄附金受領証(写し)」の通り3月11日に沖縄県へ全額振込いたしましたので、ご報告申し上げます。

なお、法人会福利厚生制度の役員による紹介実績と優秀推進員の実績報奨金を首里城復興支援プロジェクト【協力会社3社(大同生命・AIG損保・アフラック)】510,000円と令和元年12月25日に復興支援金200,000円、合計**2,754,238円**を沖縄県へ贈呈致しました。

今後とも、法人会活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様のご健勝を祈念申し上げます、書中をもちましてお礼とご報告を申し上げます。

一般社団法人 沖縄県法人会連合会 会長 上間 優



沖波建設 代表取締役 上間 優 会長 沖縄県 金城島 総務課

青年部会 令和2年度 第1回部会会議

大城崇部会長は、令和2年7月17日、北部会館4階研修室において令和2年度青年部会第1回部会会議を開催。①令和2年度の事業活動について ②やんばるきらりんと共催について審議し、全会一致で承認された。続いて③令和元年度事業活動実績について報告がなされ会を閉じた。部会会議終了後は、会場を居酒屋「路心」に移し、青年部会員相互の懇親が図られた。



女性部会 令和2年度 第1回定例会

部会長 大城幸子

令和2年7月22日、Café & Bakery MIYAにおいて令和2年度女性部会第1回定例会が開催され、①令和2年度の事業活動について(1)活動予定及び予算(2)第12回税に関する絵はがきコンクールについて協議し全会一致で承認された。続いて②令和元年度の事業について報告後、意見交換がなされた。

花植え作業 令和2年7月22日
女性部会では、社会貢献活動の一環として、名護市花の里づくりの会のご協力のもと、名護漁港向いの花壇を管理し、花植え作業を実施している。



「段取り8分、仕事2分」

(株)アルティスタ人材開発研究所 代表 玄間千映子

日本はものごとを決めるのに時間が掛かるといわれるが、それは価値観に「和」を抱いていることから生じているのではないかと思いついた。

「価値観」は人が納得するときに、必ず顔を覗かせる。「和」とはどんな価値観かと問えば、多くの人は「穏やかなこと」というのではない。しかし、それは本来の半分の意味しかないのかもしれない。「穏やかなこと」という、結果に行きつくにはどうしたらよいか。大和言葉の語彙に大陸から持ち込んだ漢字を充てるという、当て字を土台にしているが、その足跡にある音訓をたどることで、いにしえの日本社会が抱いた「和」という価値観を紐解いてみる。

「和」という文字は「ワ」とか「やわらぐ」「なごむ」などと読む。音読み「ワ」は、足し算の結果を意味するが、そこに「やわらぐ」「なごむ」などという状態を表す訓読みの意味を持たせたことで、大陸では加算という意味だったものを、日本では「単に加算に留まらず、その結果を「やわらぐ」「なごむ」ことに仕立てる」という意味に変わった、ということになりそう。

ただ単に結果に勝ち負けだけを描くのと異なり、結果を「やわらぐ」「なごむ」状態に仕立てるために、「勝った側の役目として負けた側が負けたことを受け入れられるようにするにはどうするか」まで組み立てることも、戦略的思考の中に潜り込んでくるのが「和」なのだ。「和」の場合、「相手と自分の関係整理の後に生まれる状態を穏やかにするには、最初に「何を足しておくべきか」に腐心する」という現象が生まれてくるのである。「和」の場合、足すべきものを探すと「段取り8分」の対応があり、ここまで描いてから起動するので、「契約」や勝ち負けだけを念頭に活動する場合に比べて起動に時間が取られ、それが表面的には「スピード感に欠ける」と映るのではない。

しかし、実際にスピード感が落ちてしまうのはただけではない。それを補うには、結果にどのような状態を生み出すかの絵がしっかり描けていることが必要になってくる。それが腐心すべき範囲を示すことになる。つまり、和という価値観の下で迅速な決断を行うには、その前に「加算すべきこと」を何にするかの選択が肝心ということになる。

例えば、今回のコロナ禍への対応では「手洗い、マスク、3密回避」といった日本の原則回帰の取り組みが存外効果的だったと国際社会から評判を得ている。一見、治療するには陽性が陰性かの仕分けが肝心と映る。だから各国とも全数検査の体制強化に乗り出した。しかし、治療法が確立できていなければ検査結果の意味はどれほどかとなり、原則徹底を日本は選んだ。ものごとの取り組み方は、こんなところでも真逆になっている。

ネット社会が加速化する中、現実が契約でくぐり抜けるものではなくっており、むしろどこまで目を配れるかという「和」の時代になっている。「和」のネックは、スピード感。「段取り8分、仕事2分」。それを鍛えることがグローバル時代に価値を生む。

【筆者略歴】玄間千映子(げんま・ちえこ) (株)アルティスタ人材開発研究所代表。國學院大学 卒。米インマヌエル大学大学院卒業後、米スタンフォード大学ビジネススクール修了。現在、日本経済大学大学院非常勤講師、信州大学コーディネーター兼先鋭材料研究所野口研究室技術アドバイザー、(一社)水底質浄化技術協会監事などを兼任。著書に「朗働の時代」「ジョブ・ディスクリプション一問一答」「リストラ無用の会社革命」など。

2つの星の距離は天文学的数字

フリーランスライター 藤木順平

こんなことを言う人がいた！

今年の織女星と牽牛星の逢瀬は味気ないことだ。だって、マスクしてソーシャルディスタンスを保ったデートだぜ。と。「七夕」のことらしい。

織女星はこと座のベガで、牽牛星はわし座のアルタイルという星だが、「7月7日の夜、この2つの星は本当に近づくとどうなるか？」という質問をネットで見ることがある。答えは「ノー！」。天の川を挟んだ織女星と牽牛星。恒星は動かない。この2つの星、実際には16光年ほど離れている。「1光年」というのは年月の単位ではなく、光が1年かけて進む距離のことだ。光の速さがどれほどのものか(新幹線「ひかり」ことは忘れてね)。子供のころ「1秒間に地球を7回り半する」と聞いて、なんかもう、むちゃくちゃ速いやつだと思っただけがある。16光年は長い。遠距離恋愛にも程があるというものだ！

この夏は京都の祇園祭や仙台七夕など、イベントがごとごとく中止あるいは延期となっている。

今年はずいぶんステイホームを過ごさなきゃいけない。わが家の七夕飾りを楽しもうでは？

【筆者紹介】藤木順平(ふじき・じゅんぺい) 本名・藤田順一。フリーランスライター。1997年早大理工学部卒業。NHK「てんぷく笑芸場」の台本執筆勉強会に参加。日本テレビ「アメリカ横断ウルトラクイズ」のクイズ作家として5年間、番組に加わる。芝居・漫才の台本、コントなどを執筆する。これを「ことわざや笑いを通じた」人間探求かたわら、ことわざや笑いを通じた「人間探求」をテーマにした講演を行う。1993年から2007年まで(株)エフエフエフ総合研究所に勤務。労働組合などの広報誌向けに雑字系の原稿執筆やパズル・クイズの作成を担当する。

法人会会員応援企画

飲食業・観光関連業等

応援掲示板のご案内

新型コロナウイルスの影響を受けている企業を応援します！

新型コロナウイルス感染拡大防止の各種自衛要請にともない、各業界で多大な影響が出ています。沖縄県法人会連合会では、特に影響を受けている飲食業、観光関連業を中心に、「感染拡大防止に配慮した」企業の販売促進、商品、店舗情報などを掲載した「飲食業・観光関連業等応援掲示板」をホームページに掲載し県内6法人会(那覇・北那覇・沖縄中部・沖縄北部・沖縄宮古・八重山)のネットワークを活用して、情報を発信します。



検索・掲載申込みは、沖縄県法人会連合会のホームページから ▶▶▶

<http://hojinkai.zenokuhojinkai.or.jp/okinawaken/> 沖縄県法人会連合会 検索

事務局: 〒901-0151 沖縄県那覇市鏡原町27-1 鏡原産業ビル2階 電話: 098-857-0352 / FAX: 098-857-0353

